

平成20年度の決算について

市では、4月から翌年3月までをひと区切りとした1年度ごとに、いくらお金が入ってきて、どのようなことに使うのかを決めています。これを予算といい、正式には議会の議決により決定します。そして、実際にいくら使い、お金や借金などがいくら残っているかを明らかにすることを決算といいます。

平成20年度の市の財政運営は、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」による連結実質赤字比率での「財政再生団体」入りを回避するため、「赤平市財政健全化計画(改訂版)」に基づき、予算を編成・執行しました。

一般会計の歳入では、歳入確保対策のひとつとして、軽自動車税の税率を制限税率の1.5倍とし、対前年度比28.2%の増となりましたが、一方平成19年度の市職員の退職が84名だった影響等により、個人市民税は8.5%の減となるなど、市税全体で2.4%の減となりました。地方交付税は特別交付税が8年ぶりに前年度比増となったことにより0.1%の増となりました。このほか、旧赤平小学校跡地の売却や花卉園芸振興公社を民間へ有償譲渡するなど歳入確保に努めましたが、公社に対する運転資金貸付金の一部3億4千万円については議会の議決を経てその権利を放棄しました。

歳出では、財政の健全化に向けた基本方針として人件費の削減を掲げ、市長をはじめとする特別職、一般職、市議会議員について給与等の削減、早期退職などによる職員数の削減により、対前年度比38.2%の減となりました。公債費は10.2%の減、投資的経費も建設事業の抑制により8.3%の減となるなど、歳出総額では10.1%の減となりました。

国民健康保険特別会計は、後期高齢者医療制度の開始による影響や、一般会計からの赤字解消のための繰出しなどにより、累積赤字額が約8億円から約4億円に減少しました。

病院事業会計では、内科医の中途退職による医師不足が影響したことで患者数が減少したことや、許可病床数の削減などにより医業収益の減収となりましたが、人件費の抑制や一般会計からの不良債務解消のための繰出しにより当期純利益を計上し、更には公立病院特例債の発行により、不良債務が約29億5千万円から約14億円に減少しました。

◎ 平成20年度に行った主な事業

- 1, 地域住宅交付金事業(新町団地水洗化)
- 2, 福住平岸線改築事業
- 3, 学園通歩道改修事業
- 4, 雪寒機械購入事業
- 5, 基線植栽事業
- 6, 赤平駅前広場整備事業
- 7, 学校給食センター施設整備事業
- 8, 総合体育館大規模改修事業
- 9, 公共下水道事業

平成20年度 決算総括表(各会計の決算状況)

会計区分		予算現額	決算額			地方債残高
			歳入 A	歳出 B	差引額 A-B	
一般会計		93億5913万円	89億8679万円	78億9148万円	10億9532万円	93億3475万円
特別会計	国民健康保険	31億9098万円	26億7113万円	30億6618万円	△3億9505万円	
	老人保健	3億2124万円	3億 276万円	2億9172万円	1104万円	
	後期高齢者医療	2億3223万円	2億 700万円	2億 503万円	197万円	
	土地造成事業	6716万円	6716万円	6706万円	10万円	
	下水道事業	13億 72万円	13億 608万円	12億9854万円	755万円	51億2375万円
	霊園	743万円	743万円	568万円	176万円	
	用地取得	1億8471万円	1億8471万円	1億8471万円	0万円	6億3465万円
	介護サービス事業	2億6702万円	2億7174万円	2億1022万円	6152万円	
	介護保険	11億5825万円	11億5088万円	11億3420万円	1668万円	
小計		67億2721万円	61億6637万円	64億6080万円	△2億9443万円	57億5839万円
合計		160億8634万円	151億5317万円	143億5228万円	8億 89万円	150億9314万円

(会計ごと項目ごとに端数処理をしているため、差引額・小計・合計とは必ずしも一致しません)

一般会計決算の内訳(歳入)

区 分	平成 20 年 度 決 算 額	構 成 比 (%)	平成 19 年 度 決 算 額	増 減 率 (%)
市 税	10億1483万円	11.3	10億3937万円	△2.4
地 方 譲 与 税	8205万円	0.9	8563万円	△52.7
利 子 割 交 付 金	450万円	0.2	459万円	△2.0
配 当 割 交 付 金	87万円	0.0	243万円	△64.2
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	65万円	0.0	132万円	△50.8
地 方 消 費 税 交 付 金	1億3206万円	1.5	1億4918万円	△11.5
自 動 車 取 得 税 交 付 金	2037万円	0.2	2555万円	△20.3
地 方 特 例 交 付 金	1077万円	0.1	626万円	72.0
地 方 交 付 税	41億3096万円	46.0	41億1421万円	0.4
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	198万円	0.0	229万円	△13.5
分 担 金 及 び 負 担 金	6361万円	0.7	5693万円	11.7
使 用 料 及 び 手 数 料	4億8825万円	5.4	4億9200万円	0.8
国 庫 支 出 金	7億3503万円	8.2	11億 82万円	△33.2
道 支 出 金	3億3575万円	3.7	3億5085万円	△4.3
財 産 収 入	1億8292万円	0.5	4121万円	343.9
寄 附 金	1754万円	0.2	701万円	150.2
繰 入 金	9274万円	1.0	1076万円	761.9
繰 越 金	4億7947万円	5.3	0万円	皆増
諸 収 入	8億 49万円	8.9	9億6331万円	△16.9
市 債	3億9195万円	4.4	8億 36万円	△61.0
歳 入 合 計	89億8679万円	100.0	92億5408万円	△0.9

(歳出合計に合わせるため万円未満で調整しています)

一般会計決算の内訳（目的別歳出）

区 分	平成 20 年度 決 算 額	構 成 比 (%)	平成 19 年度 決 算 額	増 減 率 (%)
議 会 費	4483万円	0.5	4863万円	△7.8
総 務 費	2億4184万円	3.1	1億9293万円	25.4
民 生 費	22億8455万円	28.9	25億 47万円	△8.6
衛 生 費	3億3574万円	4.2	3億5624万円	△5.8
労 働 費	325万円	0.0	550万円	△40.9
農 林 水 産 業 費	6631万円	0.8	9968万円	△33.5
商 工 費	10億 86万円	12.7	7億8050万円	28.2
土 木 費	8億4877万円	10.8	12億8125万円	△33.8
消 防 費	2767万円	0.4	6860万円	△59.7
教 育 費	2億8065万円	3.6	2億5641万円	9.5
公 債 費	11億6667万円	14.8	11億4776万円	1.6
諸 支 出 金	6億8239万円	8.6	5億 850万円	34.2
職 員 給 与 費	9億 795万円	11.5	15億 524万円	△39.7
繰 上 充 用 金	0万円	0.0	2291万円	皆減
歳 出 合 計	78億9148万円	100.0	87億7462万円	△10.1

（歳出合計に合わせるため万円未満で調整しています）

一般会計決算の内訳（性質別歳出）

区 分	平成 20 年度 決 算 額	構 成 比 (%)	平成 19 年度 決 算 額	増 減 率 (%)
人 件 費	9億7474万円	12.3	15億7665万円	△38.2
物 件 費	6億9174万円	8.8	7億 881万円	△2.4
補 助 費 等	9億1655万円	11.6	8億2964万円	10.5
扶 助 費	11億7157万円	14.8	15億1491万円	△22.7
普 通 建 設 事 業 費	6億1487万円	7.8	6億7109万円	△8.4
維 持 補 修 費	1億9084万円	2.4	2億 607万円	△7.4
公 債 費	11億6667万円	14.8	11億4774万円	1.6
積 立 金	3734万円	0.5	470万円	694.5
投 資 及 び 出 資 金	1億 238万円	1.3	9024万円	13.5
貸 付 金	5億5978万円	7.1	5億6021万円	△0.1
繰 出 金	14億6500万円	18.6	14億4165万円	1.6
繰 上 充 用 金	0万円	0.0	2291万円	皆減
歳 出 合 計	78億9148万円	100.0	87億7462万円	△10.1

（歳出合計に合わせるため万円未満で調整しています）

企業会計決算の内訳

◎水道事業会計

1. 損益計算書

項目	金額	項目	金額
営業費用	2億3001万円	営業収益	3億836万円
営業外費用	3387万円	営業外収益	2273万円
特別損失	208万円	特別利益	0万円
計	2億6596万円	計	3億3109万円
当年度純利益	6513万円		

2. 貸借対照表

項目	金額	項目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
固定資産	25億7894万円	固定負債	174万円
流動資産	1億4105万円	流動負債	1億5740万円
		(資本の部)	
		資本金	13億1282万円
		剰余金	12億4803万円
計	27億1999万円	計	27億1999万円

3. 企業債残高 11億5981万円

◎病院事業会計

1. 損益計算書

項目	金額	項目	金額
医業費用	19億983万円	医業収益	17億2484万円
医業外費用	1億6966万円	医業外収益	1億5729万円
医師確保対策費用	465万円	特別利益	3億184万円
特別損失	682万円		
計	20億9096万円	計	21億8397万円
当年度純利益	9301万円		

2. 貸借対照表

項目	金額	項目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
固定資産	35億5642万円	固定負債	13億8220万円
流動資産	3億651万円	流動負債	17億725万円
		(資本の部)	
		資本金	39億351万円
		剰余金	△31億3003万円
計	38億6293万円	計	38億6293万円

3. 企業債残高 39億7883万円

4. 患者数
外来 延 8万5135人 (1日平均 348人)
入院 延 4万5807人 (1日平均 125人)